

2013年7月30日

2014/3期

第1四半期決算

 住友林業

社有林(四国)

◆ 2014/3期 第1四半期業績	2
業績のポイント		
セグメント別業績		
経常利益増減実績(前年同期比)		
売上実績(住宅・不動産)		
◆ 2014/3期 業績予想	6
上期・通期予想のポイント		
セグメント別業績予想		
売上予想(住宅・不動産)		
◆ 受注実績及び予想	9
◆ 貸借対照表	10

業績のポイント

- 国内の住宅市場は、新設住宅着工戸数が増加基調で推移するなど、堅調に推移。
- 堅調な事業環境の中、国内流通事業における木材・建材の販売好調を主因に増収。
- 事業拡大のための販売管理費が増加した影響で減益。

(単位:億円)

	2013/3期1Q		2014/3期1Q		前期差	前期比
売上高		1,623		1,750	+127	+7.8%
売上総利益	14.0%	228	13.3%	233	+5	+2.1%
販管費		278		287	+9	+3.3%
営業利益	△3.1%	△50	△3.1%	△54	△4	—
経常利益	△2.3%	△38	△2.7%	△47	△9	—
当期利益	△1.7%	△28	△1.7%	△30	△2	—

セグメント別業績

- 木材建材事業⇒木材建材流通事業の取扱量増加、輸入商品の単価上昇により増収増益。
- 住宅事業 ⇒戸建注文住宅事業における完工棟数減少、販売管理費の増加、リフォーム事業の業容拡大に伴う経費先行等により、売上高は前期並みを確保するも減益。
- 海外事業 ⇒インドネシア建材製造事業の堅調な業績、豪州建材製造事業の損益改善に加え、米国住宅事業の販売が増加となるものの、為替影響により約4億円の経常損失を計上。

(単位:億円)

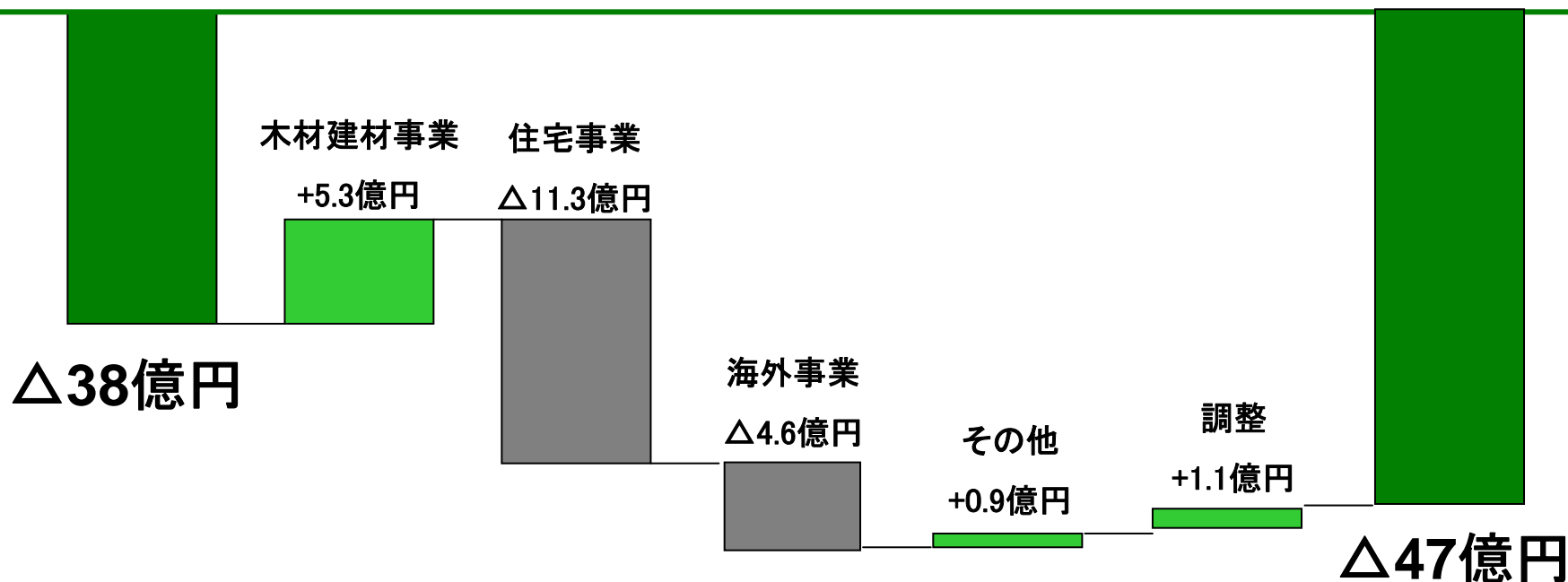
売上高

	13/3期 1Q	14/3期 1Q	前期差	前期比
木材建材事業	951	1,071	+120	+12.6%
住宅事業	640	637	△3	△0.5%
内 リフォーム	103	106	+3	+2.8%
海外事業	89	99	+10	+11.8%
その他事業	36	40	+4	+11.5%
調整	△93	△97	△5	—
合計	1,623	1,750	+127	+7.8%

経常利益

木材建材事業	0.9%	8	1.3%	13	+5	+65.4%
住宅事業	△7.1%	△45	△8.9%	△56	△11	—
内 リフォーム	△1.2%	△1	△2.4%	△3	△1	—
海外事業	0.1%	0	△4.5%	△4	△5	—
その他事業	2.9%	1	4.7%	2	+1	+83.9%
調整	—	△2	—	△1	+1	—
合計	△2.3%	△38	△2.7%	△47	△9	—

経常利益増減実績(前年同期比)



木材建材事業

売上高の増加により、約5億円のプラス。

住宅事業

完工棟数減少、経費増加により、約11億円のマイナス。

海外事業

為替影響等により約5億円のマイナス。

売上実績(住宅・不動産)

- ・戸建注文住宅⇒完工棟数、完工金額は減少するも、想定通り。完工ペースは計画どおりに進捗しており2Qで挽回予定。単価は、環境配慮機器の搭載比率増加、ビッグフレーム商品の拡販により上昇。
- ・木造アパート ⇒重点的に強化しており、順調に推移。
- ・戸建分譲住宅⇒高額物件が多かった前年同期に対し、単価が減少。

(単位:億円)

(工事進行基準含む)		13/3期 1Q	14/3期 1Q	前期差	前期比
請負事業	戸建注文 (金額)	396	376	△20	△5.0%
	(棟数)	1,186	1,090	△96	△8.1%
	百万円(単価)	33.4	34.5	+1.1	+3.4%
	木造アパート (金額)	4	9	+5	+113.6%
	(戸数)	15	53	+38	+253.3%
	その他請負 (金額)	1	3	+2	+351.0%
戸建分譲住宅 (金額)	27	21	△7	△24.1%	
(棟数)	59	50	△9	△15.3%	
百万円(単価)	46.2	41.4	△4.8	△10.4%	
注文用土地 (金額)	6	9	+3	+39.1%	
不動産開発 (金額)	14	15	+1	+7.6%	
その他 (金額)	16	16	△0	△2.3%	
合計 (金額)	464	448	△16	△3.5%	

上期・通期予想のポイント

- ・国内住宅市場は、引き続き堅調に推移すると予想。
- ・上期、通期とも業績予想は、期初から変更なし。

<上期予想>	13/3期	14/3期	前期差	(億円)
	上期	上期予想		前期比
売上高	3,921	4,200	+279	+7.1%
売上総利益	631	675	+44	+6.9%
販管費	563	595	+32	+5.7%
営業利益	68	80	+12	+17.0%
経常利益	75	78	+3	+4.2%
当期純利益	36	41	+5	+13.6%

<通期予想>	13/3期	13/3期	14/3期	前期差	(億円)
	実績	数理差異除く	予想		前期比
売上高	8,452	8,452	9,000	+548	+6.5%
売上総利益	1,414	1,414	1,495	+81	+5.7%
販管費	1,161	1,165	1,220	+59	+5.1%
営業利益	253	250	275	+22	+8.6%
経常利益	270	266	280	+10	+3.8%
当期純利益	159	157	160	+1	+0.5%

数理差異除く	
前期差	前期比
+548	+6.5%
+81	+5.7%
+55	+4.8%
+25	+10.1%
+14	+5.1%
+3	+1.9%

セグメント別業績予想

- 全てのセグメント業績予想において、期初から変更なし。
- 堅調な国内住宅市場を背景に、木材建材事業、住宅事業は増収・増益の計画。
- 海外事業について、建材製造事業は好調なインドネシアが牽引、住宅事業は米国、豪州ともに業績改善見込みで、赤字幅が縮小する見通し。

(単位:億円)

		13/3期	14/3期 予想	前期差	前期比
売上高	木材建材事業	4,013	4,300	+287	+7.2%
	住宅事業	4,308	4,500	+192	+4.5%
	内 リフォーム	530	596	+66	+12.4%
	海外事業	387	440	+53	+13.8%
	その他事業	154	160	+6	+3.9%
	調整	△409	△400	+9	—
	合計	8,452	9,000	+548	+6.5%
経常利益	木材建材事業	1.2% 47	1.1% 49	+2	+4.2%
	住宅事業	6.1% 262	6.3% 282	+20	+7.5%
	内 リフォーム	5.1% 27	5.5% 33	+6	+22.0%
	海外事業	△4.8% △18	△2.3% △10	+8	—
	その他事業	4.9% 8	5.0% 8	+0	+6.0%
	調整	— △29	— △49	△20	—
	合計	3.2% 270	3.1% 280	+10	+3.8%

売上予想(住宅・不動産)

- 戸建注文住宅の第1四半期の完工実績は前年同期を下回ったが、計画通りに進捗しており、通期計画は達成可能。
- 戸建分譲住宅、木造アパートは共に前期を上回る計画。
- 不動産開発は、既存物件の売却を進めることから、売上高が増加する見通し。

(単位:億円)

(工事進行基準含む)		13/3期	14/3期 予想	前期差	前期比
請負事業	戸建注文 (金額)	3,009	3,111	+102	+3.4%
	(棟数)	8,999	9,150	+151	+1.7%
	百万円(単価)	33.4	34.0	+0.6	+1.7%
	木造アパート (金額)	94	105	+11	+12.1%
	(戸数)	858	960	+102	+11.9%
	その他請負 (金額)	3	30	+27	+783.3%
戸建分譲住宅 (金額)	114	118	+4	+3.7%	
(棟数)	254	280	+26	+10.2%	
百万円(単価)	44.8	42.1	△2.6	△5.9%	
注文用土地 (金額)	55	69	+14	+25.3%	
不動産開発 (金額)	96	122	+26	+27.0%	
その他 (金額)	77	65	△12	△15.2%	
合計 (金額)	3,448	3,620	+172	+5.0%	

- 戸建注文住宅の第1四半期受注実績は、金額、棟数共に大幅に増加。
- 「テクノロジー展示場」の新規オープン、既存展示場の「プロト展示場」への建替を全国で推進するなど、受注拡大に注力。
- 通期計画については、業績計画同様に期初計画から変更せず。

		13/3期 1Q	14/3期 1Q	前期差	前期比	13/3期 実績	14/3期 予想	前期差	前期比	
受注	戸建注文 (金額)	737	897	+160	+21.7%	3,142	3,375	+233	+7.4%	
	(棟数)	2,158	2,544	+386	+17.9%	9,105	9,700	+595	+6.5%	
	百万円(単価)	34.1	35.3	+1.1	+3.2%	34.5	34.8	+0.3	+0.8%	
	木造アパート (金額)	27	39	+12	+45.8%	130	144	+14	+10.4%	
	(戸数)	258	307	+49	+19.0%	1,138	1,250	+112	+9.8%	
	リフォーム (金額)	128	142	+14	+10.7%	538	600	+62	+11.5%	
	その他請負 (金額)	1	0	△1	△73.9%	10	35	+25	+258.1%	
	(単位:億円)									

プロト展示場



テクノロジー展示場



	13/3末	14/3 1Q	増減		13/3末	14/3 1Q	増減
現預金・有価証券	672	508	△163	仕入債務	1,696	1,375	△321
売上債権	1,259	1,272	+12	短期借入金	260	279	+19
商品	223	270	+47	未成工事受入金	423	645	+221
販売用不動産	279	267	△12	その他の流動負債	382	318	△63
未成工事支出金	271	453	+183	流動負債	2,761	2,617	△145
未収入金	479	356	△123	長期借入金・社債	392	373	△19
その他流動資産	492	320	△173	退職給付引当金	97	98	+1
流動資産 計	3,675	3,447	△228	その他の固定負債	297	299	+2
建物・構築物	266	272	+6	固定負債	786	770	△15
土地	236	237	+1	株主資本	1,818	1,771	△46
投資有価証券	596	667	+71	その他の 包括利益累計額	107	145	+38
その他固定資産	707	690	△18	少数株主持分	8	8	+1
固定資産 計	1,805	1,865	+60	純資産	1,933	1,925	△8
資産	5,480	5,312	△168	負債・純資産 計	5,480	5,312	△168

- 毎期第1四半期は、季節的要因として、工事中物件の増加に伴い、未成工事支出金および未成工事受入金が増加する。
- また、前期末の完工物件の工事代金を支払うため、現預金と仕入債務が減少し、その影響で総資産も前期末に比べ減少する傾向がある。今期も例年と同様の傾向。

2014/3期

第1四半期決算



本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

